

委員会行政視察実施報告書

(視察箇所ごとに作成、行数は任意で追加)

委員会名	総務常任委員会			
参加委員	◎五十嵐 吉也	○後藤 誠司	小島 雄一	坂内 鉄次
◎委員長、○副委員長	渡部 勇一	伊藤 弘明	齋藤 勘一郎	

1 本市の課題と視察の目的

市民活動に関する市民・行政・企業間の交流及びネットワークづくりを促進する中間支援 NPO として行っている、市民活動団体の基盤づくりや自立のサポートなど、様々な取組について学び、本市施策の参考とするため研修を実施した。

2 実施概要

実施日時	視察先	認定 NPO 法人とす市民活動ネットワーク
令和元年 8 月 20 日 (火) 13 時 01 分～14 時 20 分	担当部局	
視察項目	認定 NPO 法人とす市民活動ネットワークの取組について	
報告内容	1 認定 NPO 法人とす市民活動ネットワークについて (1) 市民主体の社会を実現するために、市民の自発的活動を支援、促進 (2) 立場を越えて人々が集い、交流できるコミュニティスペースの提供 (3) 地域資源を活かし環境に配慮した住みよいまちづくりを目指す これらのミッションを達成するために、下記の事業を実施 ア 市民活動団体の支援事業 イ NPO、行政、企業間の交流・ネットワークづくり事業 ウ 市民活動情報収集・発信・啓発事業 エ とす市民活動センター管理運営事業 オ 教育訓練事業 カ その他法人の目的を達成するために必要な事業 2 NPO、行政、企業間の交流・ネットワークづくり事業 平成 30 年度の団体支援活動は、団体の立ち上げが 6 件、組織運営相談が 13 件、相談支援全体で 106 件（前年 90 件）となり前年比 118%。 相談内容は、NPO 法人の会計書類作成・助成金・補助金申請などに加え引きこもりやアルコール問題などの相談を受ける専門 NPO の情報提供や転入者が知り合いや地域になじむためのボランティア活動相談等あり。 (1) 河内ンちくりん事業 林業体験を通して地域住民と都市住民との交流を図るとともに竹林の整備や林産物の生産の促進を目的とする。 (2) CO2 削減草の根事業 地域住民に 3R を支援している市民団体等と連携し、「おもちゃの修理」や「子ども服等の譲渡」等の啓発活動の場の提供や、取組を促進するサポーターの養成。 (3) あそびのひろば事業 木育らんど	

	子育て中の親子を中心とした多世代交流の場を設置するとともに、子育てしやすいまちづくりを目指す。宮崎より木の遊具を届けてもらい3日間開催。同時に「木でつくる体験会」を2日間開催し、3日間で延べ9,390名来場。 (4) NPO カアアップ研修会 ボランティア・NPOの基礎、これからのNPOのあり方、協働についてなどを市民活動団体を対象に開催。 3 情報発信事業 ホームページ、Facebookでの情報発信。 また、毎月の市民活動センターや登録団体の活動紹介、各種イベントや講座の案内、ボランティア情報を届ける広報紙「クローバー便り」を3,000部発行。 4 とす市民活動センター管理運営事業 とす市民活動センター「クローバー」は、『私たちの好きなまちは私たちでつくろう』を合言葉にNPO、ボランティアなど市民活動をしている人、これから市民活動を始めようとしている人へ、様々な情報の提供、活動団体相互の交流と連携の促進や市民活動団体の自立化を支援。広域的な情報・人材交流のネットワーク拠点、市民と市民活動団体、企業、行政との協働、連携をサポートしている。平成30年度のセンター年間利用者数は17,374人、うち会議室利用は164団体、1,643人。 (1) 市民フェスタ 市民活動、地域活動への取組や市民協働を考える機会として、また、市民と共に学び、共に考え、市民協働のまちづくりへの関心を高めるための場として開催。 (2) クローバーカフェ 市民活動団体と市民との交流や情報交換等を目的として開催。身近なテーマ（平成30年度は「子育て中のママたちの井戸端会議」や「終活講座」）でお茶を飲みながら過ごす、ゆったりとした交流会。 5 教育訓練事業 パソコン個人講座を毎週1回開催。職場での配置転換や自治会の会計事務、パソコンを触ったことがない若者など多様な人が参加。
考 察 (まとめ)	市民活動センターが商業施設の2階にあり、利便性の高い立地だと感じた。中間支援NPOとして、市民活動に関する市民・行政・企業間の交流を促進している。 市民活動団体の基盤づくりや自立のサポート、コミュニティスペースの提供等幅広い活動を行っている。木育事業の開催等を通じて、子育て支援や移住者支援にも貢献していた。 本市においても、こういった団体を支援できるような施策が必要であると感じた。

